



三種町

議会だより

平成26年
7月15日 発行

第34号

「収穫真っ盛りの金仏梅公園」

もくじ

議員紹介	2～3
新議会体制決まる	4
補正予算の内容	5
議案審議、議案一覧	
議案採決結果	6～7
一般質問（4人が登壇）	8～11
町民と議会との懇談会、請願・陳情	12
町民のみなさまへ、臨時会	13
三種の星、編集後記	14

発行：三種町議会

編集：議会広報編集特別委員会

〒018-2401 秋田県山本郡三種町鶴川字岩谷子8番地

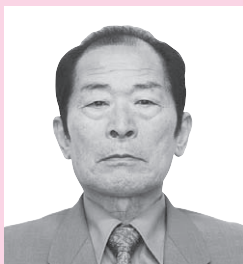
TEL(0185)85-4831 FAX(0185)85-2178

URL <http://www.town.mitane.akita.jp/>

議員紹介

三種町議会議員の改選後の初議会が7月4日に開催され、議長に金子芳継氏、副議長に加藤彦次郎氏が選ばれました。

議席番号 6



工藤 秀明
くどう ひであき

地区 鹿中
所属委員会等
総務常任委員会
(副委員長)

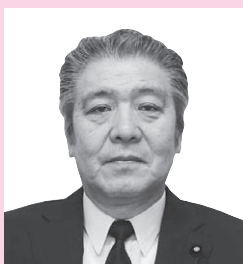
議席番号 1



大澤 和雄
おおさわ かずお

地区 志戸橋野
所属委員会等
教育民生常任委員会
(副委員長)
議会運営委員会

議席番号 7



高橋 満
たかはし みつる

地区 和田
所属委員会等
産業建設常任委員会
(副委員長)
議会広報編集特別委員会

議席番号 2



宮田 幹保
みやた みきやす

地区 浜鯉川
所属委員会等
教育民生常任委員会
(委員長)

議席番号 8



石井 秀基
いしい ひでき

地区 木戸沢
所属委員会等
総務常任委員会
議会広報編集特別委員会

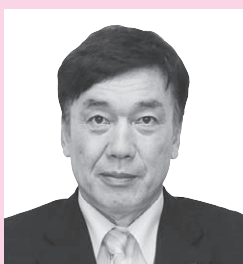
議席番号 3



安藤 賢藏
あんどう けんぞう

地区 泉八日
所属委員会等
産業建設常任委員会
(委員長)

議席番号 9



鈴木 一幸
すずき かずゆき

地区 黒瀬
所属委員会等
教育民生常任委員会
議会広報編集特別委員会
(副委員長)

議席番号 4



三浦 敦
みうら あつし

地区 浜田
所属委員会等
産業建設常任委員会
議会運営委員会

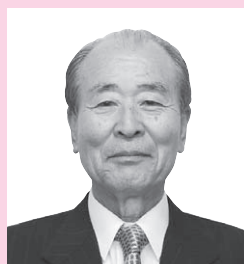
議席番号 10



小澤 高道
こさわ たかみち

地区 達子
所属委員会等
教育民生常任委員会
議会運営委員会

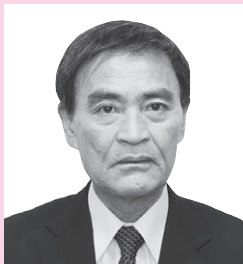
議席番号 5



清水 欣也
しみず きんや

地区 浜田
所属委員会等
産業建設常任委員会
議会広報編集特別委員会
(委員長)

議席番号 15



伊藤 千作
いとう せんさく

地区 鹿渡新屋敷
所属委員会等
総務常任委員会
議会運営委員会
(委員長)

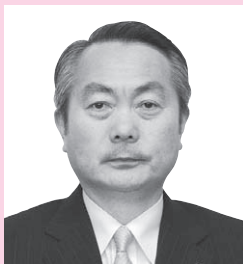
議席番号 11



成田 光一
なりた こういち

地区 大曲
所属委員会等
教育民生常任委員会
議会広報編集特別委員会

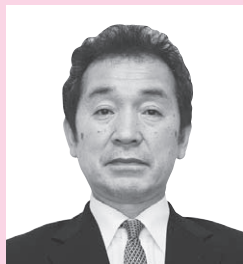
議席番号 16



平賀 真
ひらが まこと

地区 大町
所属委員会等
総務常任委員会
(委員長)
議会広報編集特別委員会

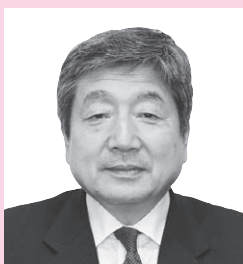
議席番号 12



加藤彦次郎
かとう ひこじろう

地区 臈淵
所属委員会等
副議長
産業建設常任委員会

議席番号 17



児玉 信長
こだま のぶなが

地区 鹿北
所属委員会等
教育民生常任委員会

議席番号 13



後藤栄美子
ごとう えみこ

地区 鶴川
所属委員会等
総務常任委員会
議会運営委員会
(副委員長)

議席番号 18



金子 芳継
かねこ よしつく

地区 大口
所属委員会等
議長
総務常任委員会

議席番号 14



堺谷 直樹
さかいや なおき

地区 飛塚
所属委員会等
産業建設常任委員会
議会運営委員会

議長就任
あいさつ

町民の皆さまには、
ますますご健勝のこと
とお慶び申し上げます。

このたび、町議会議員
改選後の初議会にお
きまして、三種町議
議長に就任いたしまし
た。身に余る光栄であ
り感謝いたしますと
もに、責任の重さを痛
感しているところでご
ざいます。

人口減少の中で若者
の定住対策や高齢化対
策、またそれぞれの地
区の活性化など様々な
行政課題をかかえてい
ます。

議会はこれらの課題
に積極的に取り組んで
行くことが求められて
おり、これからも町民
の皆さまの願いに応え
られるよう最善の努力
をいたす所存ござい
ます。

どうか今後とも皆さ
まのご支援・ご協力を
賜りますようお願い申
し上げます。

新議会体制決まる

■議会常任委員会

	総務常任委員会 (6人)	教育民生常任委員会 (6人)	産業建設常任委員会 (6人)
委員長	平賀 真	宮田 幹保	安藤 賢藏
副委員長	工藤 秀明	大澤 和雄	高橋 満
委員	金子 芳継	児玉 信長	三浦 敦
	伊藤 千作	鈴木 一幸	清水 欣也
	後藤 栄美子	小澤 高道	加藤 彦次郎
	石井 秀基	成田 光一	堺谷 直樹

任期：平成26年7月4日～平成28年7月3日

■議会運営委員会

委員長	副委員長	委員	
伊藤 千作	後藤 栄美子	三浦 敦	大澤 和雄
		小澤 高道	堺谷 直樹

任期：平成26年7月4日～平成28年7月3日

■議会広報編集特別委員会

委員長	副委員長	委員	
清水 欣也	鈴木 一幸	平賀 真	高橋 満
		成田 光一	石井 秀基

任期：平成26年7月4日～平成28年7月3日

■議会推薦農業委員

農業委員	堺谷 直樹
------	-------

任期：平成26年7月4日～平成27年7月19日

■議会選出監査委員

監査委員	小澤 高道
------	-------

任期：平成26年7月4日～平成30年6月30日

■能代山本広域市町村圏組合議会

議会議員			
金子 芳継	加藤 彦次郎	平賀 真	安藤 賢藏

任期：平成26年7月4日～平成28年7月3日

■能代市山本郡養護老人ホーム組合議会

議会議員	鈴木 一幸
------	-------

任期：平成26年7月4日～平成28年7月3日

平成26年 6月定例会補正予算の内容

6月11日～13日

会 計 名	補正前の予算総額	追加補正額	補正後の予算総額
●一般会計	98億1,980万3千円	2億406万9千円	100億2,387万2千円
【主な歳出】			
事 業 名 (内 容)	事 業 費	財 源	
・ 過疎集落等自立再生対策事業 (鶴川連合自治会による薬草薬木の栽培等への補助)	950万 円	国庫支出金	
・ 交通災害対策 (琴丘地域の交通指導車購入)	285万 円	一般財源	
・ 街灯ESCO事業 (街路灯LED化事業費)	1,010万 円	一般財源	
・ 介護保険費 (介護保険財政安定化特別対策、介護特別会計へ繰出)	5,999万9千円	一般財源	
・ 青年就農給付金事業 (就農定着における最低限所得を確保するための給付金)	450万 円	県支出金	
・ 林業費 (白神森林組合・高性能林業機械導入補助金)	253万5千円	一般財源	
・ ゆめろん管理費 (ゆめろん改修計画書作成業務委託料)	179万2千円	一般財源	
・ 多目的広場管理費 (ゆめっぴいクラブハウス改修工事費)	1,030万9千円	一般財源	
・ イベント事業費 (山本地域活性化イベント実行委員会補助金)	108万 円	一般財源	
・ 住宅管理費 (町営新八竜住宅8戸分の屋根葺き替え改修工事費)	2,305万3千円	一般財源	
・ 林道災害復旧工事 (昨年の台風被害による工事、琴丘稜線・羽根川線・井戸下田線他)	3,207万8千円	一般財源	

●特別会計

会 計 名	補正前の予算総額	追加補正額	補正後の予算総額
国民健康保険事業勘定特別会計	26億4,326万5千円	531万3千円	26億4,857万8千円
簡易水道事業特別会計	2億1,671万4千円	歳出組替	2億1,671万4千円
公共下水道事業特別会計	5億9,683万1千円	639万5千円	6億 322万6千円
農業集落排水事業特別会計	1億5,768万9千円	△487万8千円	1億5,281万1千円
介護保険事業勘定特別会計	27億2,731万4千円	5,999万9千円	27億8,731万3千円
衛生処理事業特別会計	2,129万8千円	歳出組替	2,129万8千円

●水道事業会計

区 分	補正前の予算総額	追加補正額	補正後の予算総額
収益的支出	1億6,120万2千円	23万 円	1億6,143万2千円
資本的支出	7,402万5千円	1,120万2千円	8,522万7千円

議案審議

平成26年度一般会計予算の補正

問 浜口・鶴川両地区館の修繕費はどのような内容か。

答 児童館としても使用されている鶴川地区館で、傷んだ床に転んだ児童が怪我をしたと聞いているがその修繕は考えていないか。

問 この補正は灯油タンクの交換と付随の修繕である。床の修繕となると大規模な改修が必要となるが内容を精査し検討したい。

答 全県駅伝大会が開催されるようだが、選手の選考方法は決まっているのか。

問 町営住宅屋根改修と設計委託料の内容は。

答 駅伝大会については体育協会とスポーツ係が協議中である。

問 屋根改修については新八竜団地8戸分である。27年度から大町・千刈田住宅の建て替えに係る基本設計分の計上である。

答 小・中学校の緊急メール配信システムの詳細は、また職員用の非常用連絡システムはどのようなのか。

問 住宅の払い下げに関してどのように考えているか。さらに新たに住宅建設の予定があるのであれば森岳駅周辺を検討することはできないか。

答 払い下げに関しては補助金で建設した住宅であることから、財産処分等の要件等注視しながら対応していきたい。森岳駅周辺については利便性のあるところと認識している。前向きに検討したい。

問 財産管理費補助金「母への手紙・父への手紙」の内容と作品に順位をつけることへの当局の考え方は。また、この補助金は財産管理費ではなく文化振興費として予算計上すべき内容ではないか。

答 実行委員会の予算内容では会議費・旅費・報償費・通信費・印刷費・商品費・事務費となっている。順位をつけることについては、実行委員会の考え方を尊重することが大事であると考えている。予算は今後適正な項目に計上する。

問 小・中学校の緊急メール配信システムの詳細は、また職員用の非常用連絡システムはどのようなのか。

問 児童生徒の保護者（希望者）との緊急連絡をメールでやりとりするものである。配信方法・受信確認機能などが構築されたシステムである。

答 職員用は既存のシステムに登録し一斉送信するものである。

問 国民文化祭に係る補助金の内訳は。

答 主会場が山本体育館になるが、会場費・舞台制作経費として歌舞伎には花道やせり出しの舞台、引き幕、楽屋などのほかに特別出演者の経費である。キルト展示に関してはパネルの設置、有名人が作成したキルトの展示（交渉中）の費用を見込んでいる。

問 空き家解体費補助について、個人で解体する場合も自治会が解体する場合も補助率は変わらないのか。

答 基本的に個人責任で対応すべきものであるが、相続人不在などいろいろなケースが想定される。実態に即した対応をしたいので、まずは町民生活課に相談してほしい。

問 基本的な個人責任で対応すべきものであるが、相続人不在などいろいろなケースが想定される。実態に即した対応をしたいので、まずは町民生活課に相談してほしい。

条例改正	平成26年度予算																	区分	審議された議案一覧
	13	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18		
改正	13	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	賛成	採決
改正	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	反対	状況
	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	承認	承認	承認	承認	承認	承認	承認	承認		結果

討 論

◆賛成討論

堺谷房子議員 やはり置かれて
いる町の情勢、状況などを

◆反対討論

児玉重吉議員 この条例案は
修正しなければならない文面、
内容などたくさんある。今回
この条例案を採択したところ
で、近々また修正しなければ
ならない。何度も同じ内容を
改正したりするよりは、もう
一度練り直して提案すべきで
ある。よって反対である。

◆反対討論

判断した場合に、何度でも条
例改正はあつてしかるべきだ
と思う。よって賛成である。

◆反対討論

安藤賢藏議員 町長の公約で
もある企業誘致を進めるとい
う観点から見れば、今回の改
正では弱い。他の市町村より
も一歩も二歩も先に良い条件
を提示することが、今、私た
ちが求められている町の考え
方である。よって反対である。

改正 工場誘致等奨励条例の一部

問

人口減少社会に立ち向かうた
め、働く場所の確保が急務であ
る。奨励金交付を3年から5年に、
また固定資産税の免除を3年にとあ
るが、多少条件が良くなったとい
うことではなく、県内でも条件が
いいと切り切れる内容を考えるべき
ではないか。

答

県内で三種町と同規模の町村で
は美郷町と羽後町であり奨励金

問

条例の名称も「工場」と限定せ
ずに「企業」とすべきではない
か。さらには公と民が一体化した
プロジェクトチームを作るのはど
うか。

答

名前の変更を含め全面的な改正
は今後さらに検討する。また、
異業種間の交流の場を設け、様々
な意見や情報を収集したい。

交付は5年である。市では仙北市が
特別で10年交付である。

議案採決結果

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 退…退席

議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	結果	
	鈴木 一幸	加藤彦次郎	清水 欣也	安藤 賢藏	工藤 秀明	堺谷 房子	平賀 真	伊藤 千作	近藤 一彦	金子 芳継	袴田 隆	三浦 敦	大澤 和雄	宮田 幹保	児玉 重吉	斎藤 清作		後藤栄美子	小澤 高道		
工場誘致等奨励条例の一部改正	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	●	●	-	○	○	可決

※採決の際に賛否が分かれた議案を掲載しています。
※議長は採決に加わりません。

報 告	選 挙	諮 問	任 命	契 約
専決処分報告 (公用車走行による浸水波 事故に係る損害賠償に関す ること)	秋田県後期高齢者医療広域 連合議会議員の選挙	人権擁護委員候補者の推薦	教育委員会の委員の任命	財産の購入 (除雪ドーザー11t級 その1)
専決処分報告 (公用車走行による浸水波 事故に係る損害賠償に関す ること)	選挙管理委員会委員及び同 補充員の選挙	人権擁護委員候補者の推薦	教育委員会の委員の任命	財産の購入 (除雪ドーザー11t級 その2)
平成25年度一般会計予算 特別会計予算繰越明許費繰 越計算書の報告	18	18	18	18
平成25年度一般会計予算 特別会計予算繰越明許費繰 越計算書の報告	0	0	0	0
報告	決定	決定	可決	可決

※議長は採決に加わりません。

人口減少社会に向けてどう取り組むか



清水 欣也
議員

清水 人口減少に関する各種の推計が国や県の機関によって発表されているが、その調査結果は衝撃ともいえる内容であり、将来に危機感を抱かざるを得ないものとなっている。公表された内容で、特に問題なのは、秋田県が多くの調査項目で全国の悪い方の上位を占めているうえに、三種町がさらにその県平均を大幅に下回っていることである。

町長 公表された推計において、私達の町が具体的にどのような減少状況になっているのか。また、町長はその結果をどのように認識しているか。

町長 昨年、国立社会保障・人口問題研究所で公表した2040年の将来推計人口によると、2010年に1万8千876人であったものが2040年には1万6人になり、30年間で約8千800人余りが減少するとされている。また、日本創成会議人口減少問題検討分科会が公表し

た試算によると、20歳から39歳までの若年女性人口が2010年に1千450人であったものが、2040年には392人になると推計されている。その減少率は73%で、男鹿市、五城目町に次いで3番目に高いと推計されており、非常に厳しい結果となっている。

清水 人口減少の最大の要因は、雇用の問題だと思う。働くところがないからこの町から出て行くしかない。また、今の生活を維持して行くのが精いっぱい子供どころではない、というのが現実ではないだろうか。

しかし、町長は建物行政や文化社会的な分野には熱心であるが、産業振興や雇用の確保ということには真剣でない。県の秋田企業活性化センターのような産業振興専門の組織体制を敷いて、地域の産業の徹底的な底上げを図ってはどうか。

町長 産業振興については、地域雇用創出推進事業補助金の活用により雇用の確保に努めているほか、商業者が利用する融資（二マル三）の限度額を増額しその利用度を上げている。今後は、地域の事業者への資金の導入など広範な指導ができるよう

な人材を確保したいと思っている。また、中小企業のための補助金制度を習熟させるため、場合によっては企業活性化センターへ職員を派遣することも考えている。

清水 これからは、高齢者の活用がこの地域の活性になくはならないものになる。また、今のお年寄り是非常に元気であり、シルバー人材センターの組織を拡大し、もっと活動の幅を広げてはどうか。その際にはセンターが在宅介護事業に参入してはどうか。

町長 これからの地域において、高齢者の活用が大事になるという意見には同感である。今の高齢者は非常に元気であるほか、知識や経験が豊富であり、シルバー人材センターをいろいろな分野に入って行けるような形に組織すれば、より多くのビジネスができるのではないかと思う。

清水 人口減少対策の大きな柱の一つとして子育て支援が考えられるが、その支援策の一つとして保育施設の整備がある。町長は、選挙公約で浜口・鶴川保育園の公設民営を検討するとしているが、今後の出生数の減少を見

据えた場合、両保育園を統合した上で町営にすることが適切だと思うがどうか。

町長 八童地区の保育園は民間の保育所であり、琴丘や山本地区の町営の保育園と比較し、保育士の待遇や施設整備の面でハンディが生じやすい。今後は浜口・鶴川保育園と一緒に合った形で公設民営化するのが適切ではないかと思う。

清水 人口減少対策というと、強化、拡大、予算の増額といった振興策に重点が置かれがちだが、減少に伴う縮小、縮減を視点に置いた対策が一方になれば人口減少対策としては有効とは言えない。この地域の人口が今後急激に減少することが現実視されている中において、ゆめろんの改修に当たっては縮減方針で臨むべきであり、無理をせず、小じんまりとしたゆめろんを目指すべきだと思う。

町長 ゆめろんの施設の整備のあり方については、当然に節度が求められるものであり、本当に必要な設備にとどめ置くべきという意見には同感である。

子育て支援は万全か



平賀 真
議員

平賀 町では、第2子以降誕生祝い金支給、中学生まで医療費無料、小中学校に同時に3人以上在学した場合3人目以降の給食費免除等、子育て支援事業が実施されているが、保育事業はどのようになっているのか。

若い世代が、この町で子どもを産み育て、生活のために仕事をしていくには、保育事業が不可欠である。

現在の保育園の定数、入園児童数、待機児童はいるのか。職員の実態を伺う。

町長 保育園の現状は、町立の琴丘保育園が定数160人に対し入園児108人・森岳110人に対し79人・金岡90人に対し50人・下岩川45人に対し17人・私立の鶴川100人に対し94人・浜口80人に対し70人・八竜20人に対し6人となっており、7保育園605人の定員に対し入園児は424人である。職員数は町立4保育園で正

職員21人、臨時職員23人、パート3人、私立3保育園で正職員18人、臨時職員10人、パート3人である。

入園の相談を受けているのが4人おり、事実上の待機児童である。保育士の不足が理由であり、引き続き募集を行い補充に努めていきたい。

平賀 待機児童家庭は乳幼児態である。対策を急ぐべきである。

福祉課長 2月からハローワークを通じ募集しているが応募がないのが現状である。

一日7千円、臨時的雇用という待遇が問題だと思われるが、引き続き募集していく。

平賀 入園許可の判定はどうか。公平性を保つために、家庭の状況を民生委員から確認してもらってはどうか。

福祉課長 申込書、添付書類で判断している。

家庭内で保育が困難な児童の入園を許可しているが、今後は民生委員の意見も参考にしたい。

空き家解体支援事業の実績と今後の課題は

平賀 町内の空き家の実態を伺う。空き家の数、所有者不明の数、危険性が高い家屋の数はどの程度か。

補助を受け、解体が行われた実績は。

隣接家屋、通行人、通行車両等に被害が想定される空き家に対して、危険度を判断し応急的対応を講じるべきではないか。

法的問題をクリアするため、行政では、どこまで踏み込んでいるのか。

町長 町内の空き家は平成24年度末で448棟、その内自治会から危険と指摘された空き家は105棟、町で調査し特に危険と判断したのが36棟である。指導助言の対象として所有者が特定できた8棟の内2棟が解体された。

自治会が所有者から印鑑証明付き同意書を貰い解体に向け進めている事例もある。行政で代執行するよりも、早い解決に繋がるのではないか。

町民生活課長 事故等が発生した場合、あくまで所有者が責任を負うべきだが、カラーコーンや看板を設置し安全に配慮したい。個人の財産権を侵害する恐れがあるのでなかなか踏み込めない。

平賀 行政は町民の生命、財産を守る事が最大の使命である。解体が困難な場合、防護壁の設置等様々なことを検討すべきではないか。

町長 個人の財産権があつてのを抑えるための措置をとる必要があると思う。



倒壊の危険がある空き家

旧山本給食センター付近の改良を



昨年の大雨被害状況



大澤 和雄
議員

大澤 旧山本給食センター付近の駐車場や住宅地周水は大雨のたびごとに床下浸水の被害にあっている。旧山本町するときにも何度か改良工事をしているが、増水し

たときに直接、惣三郎沼へ排出するような改良をするべきと考えるが対応について伺いたい。
また、下水道のポンプの能力が低いのではという声もあるが、どうなのか。

町長 指摘された場所は、ここ数年間、何度か浸水などが発生している。原因は惣三郎沼公園、テレトラック、ふるさと文化館などの整

備により、水を集める区域からの降雨の流出速度や係数が高まったことや、排水施設の設計に用いる降雨強度等の数値が標準を大きく上回っていることが影響している。十分、現地調査を行い、床下浸水が発生しないように対策を検討していきたい。公共下水道のポンプの能力については、汚水のみを排水する分流方式をとっているため、処理能力に問題はないと考えている。

「じゅんさいの館」の加工施設設置を

大澤 じゅんさいの館の組合員から加工施設を設置したいとの要望があると伺っている。組合員の要望に積極的に支援していくべきと考えられる。現在、この事業についての状況と今後の対応について伺いたい。

町長 加工施設については、近年の組合総会でも6次産業化が話題となり、組合員の中でも加工の意欲を示している組合員も多いと聞いている。農産物の生産加工販売という流れは、農業振興や農家所得向上に有効な施策と考えられる。

現在、町に対する要望や具体的な内容は、まだ提出されていない段階である。しかし、農業振興、農家所得向上のため、組合が前向きな姿勢を示していることから、5月末日に関係者と打ち合わせを行い、県の6次産業化総合支援事業の採択基準などについて協議中である。事業の具体化を探るためにも、今後とも打ち合わせを継続していきたいと考えている。

消防団員の待遇改善を



伊藤 千作
議員

伊藤 消防団は、初期消火活動に重要な役割を果たしている。しかし、最近は入団者も減り続けている。一方で、東日本大震災を受けて、大規模災害時の消火・救助活動、住民の避難誘導など、消防団員の果たす役割が見直され、消防団の充実強化に取り組む自治体も広がっている。

そのための消防団員の待遇改善を求める取り組みは急務となっている。

地方自治法で消防団員には報酬・手当を支払わなければならないと規定され、その報酬と出勤手当は市町村の条例で定めることになっている。

そして、政府は、自治体が消防団員に一定額の報酬と手当を支給するよう、地方交付税でその額を措置している。

政府は、消防団員一人当たりの報酬の交付税単価を年額

で3万6千500円と算定し、また1回の出勤手当額は7千円としている。

しかし、当町は団員の報酬額は2万1千100円、1回の出勤手当額は3千100円となっている。ちなみに報酬については全国基準と町を比較すると次の表のとおりであり、部長・班長も含めて全て国基準を下回っている。

報酬の比較表
(単位：円)

	国基準	三種町
団 長	82,500	60,000
副 団 長	69,000	54,800
分 団 長	50,500	30,200
副分団長	45,500	26,600

消防庁の通達にも、報酬手当の条例単価の低い市町村は、積極的に単価を引き上げるよう述べ、出勤手当も出勤実態に応じた検討を述べている。

当町も報酬の引き上げなど、消防団員の待遇改善をしていくべきだ。

町長 交付税単価として示されている年額報酬は、地方交付税の算定で人口10万人、世帯数4万1千世帯等の標準的条件を備えた地方団体が合理的で妥当な水準において地方行政を行う場合の経費を基準に算定されたものである。その積算された金額が3万6千500円となっている。

地方交付税は地域の自然条件、面積、人口などの違いにより調整され交付されているので、交付税単価がそのまま算入されているのではなく、各団体の基準財政需要額に応じて交付されている。

現在の費用弁償は、平成18年の町の合併当時に、旧3町の金額を調整して改正されたものである。

能代・山本の各市町を見ると、一般団員の年額報酬は、高い方で、1回当たりの出勤手当額は中間ぐらいに位置している。



自然災害を想定した水防訓練

しかし、制定されてから既に8年が経過していることや、火災などで出勤する場合の所要時間が2時間から4時間未満となっていることを参考に、全県と都市の状況や賃金なども比較考慮しながら適正額の検討を進めていく。

他に

「道路側溝等の環境整備」
「生活保護世帯からの

税金徴収」
について質問しました。

7/28(月)、29(火)、30(水)

第1回

「町民と議会との懇談会」

を開催します。

三種町議会では、本会議の内容や議会活動の状況などを町民のみなさんにご報告・説明し、また、議会や町政に対する質問や意見、提言をお聴きする機会として、「住民と議会との懇談会」を開催します。たくさんのご来場をお待ちしております。

● 日 程

日 時	地 域	会 場	担当班
7月28日(月) 午後7時00分～午後8時30分	琴丘地域	上岩川生活改善センター	1班
	山本地域	すいらんの館	2班
	八竜地域	せいぶ館	3班
7月29日(火) 午後7時00分～午後8時30分	琴丘地域	鯉川地区コミュニティセンター	3班
	山本地域	金陵の館	1班
	八竜地域	浜口地区館	2班
7月30日(水) 午後7時00分～午後8時30分	琴丘地域	琴丘地域拠点センター	2班
	山本地域	山本公民館	3班
	八竜地域	鶴川地区館	1班

● 班編制

班	1 班		2 班		3 班	
出席議員	平賀 真	工藤 秀明	宮田 幹保	大澤 和雄	安藤 賢藏	高橋 満
	金子 芳継	伊藤 千作	児玉 信長	鈴木 一幸	三浦 敦	清水 欣也
	後藤栄美子	石井 秀基	小澤 高道	成田 光一	加藤彦次郎	堺谷 直樹

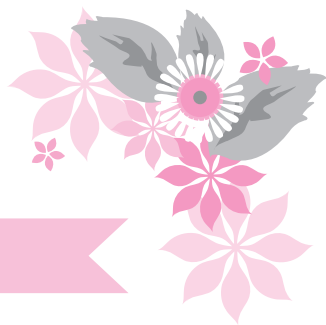
◆問い合わせ先 議会事務局 ☎85-4831

請 願

陳 情

審査報告

陳 情	件 名	陳 情 者 氏 名	付託委員会	結 果
	街灯新設に関する陳情書	根岸自治会 近藤与志雄・信太 清忠 館岡 和男・信太 鉄政 細越真利雄・館岡 義実	教育民生常任委員会	採 択
	手話言語法（仮称）制定を求める意見書採択に関する陳情書	能代市聴力障害者会 会長 佐々木忠之	教育民生常任委員会	採 択
	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国库負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択についての陳情書	秋田県教職員組合 執行委員長 山縣 稔 秋田県教職員組合能代山本支部 支部長 佐々木 徹	教育民生常任委員会	採 択



町民のみなさまへ

～大変お世話になりました～

私たち5人は、任期満了となる6月30日をもちまして、議会議員を退任いたしました。

在任中は、みなさまから温かいご支援、ご教示をいただきました。

また、先輩や同僚議員、関係者の方々から多くのご指導を賜り、誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

三種町の更なる発展と、三種町民のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、退任のご挨拶といたします。



齋藤清作 議員

堺谷房子 議員

袴田 隆 議員

近藤一彦 議員

児玉重吉 議員

第1回

臨時会

日時：平成26年7月4日(金)

- 議会議長選挙
- 議会副議長選挙
- 議会常任委員会委員の選任
- 議会運営委員会委員の選任
- 議会広報編集特別委員会委員の選任
- 能代山本広域市町村圏組合議会の議員の選挙
- 能代市山本郡養護老人ホーム組合議会の議員の選挙
- 農業委員会委員の選任につき議会が推薦する者
- 監査委員の選任

人事案件については、2～4ページをご覧ください。

● 専決処分の報告（施設管理作業事故に係る相手方車両の損害賠償に関する件）

● 専決処分の報告（街路灯転倒事故に係る相手方家屋の損害賠償に関する件）

● 温泉事業特別会計への繰り入れ

● 一般会計予算の補正

〈主な内容〉

- ・ 障害者福祉自立支援給付費……………485万8千円
- ・ 木戸沢地内集落排水路整備事業費……………350万円

● 温泉事業特別会計予算の補正

〈主な内容〉

- ・ 温泉管理費（電気料・修繕料） …… 678万3千円

● 議員派遣の件

（藤里町議会町民会議の視察、県北地区町村議会議員研修会、町民と議会との懇談会、町村議会広報・議員研修会）

三種の星



秋田高校卓球部

いづみ 泉 いづみ かい 凱 かい と 仁 と

(八竜中出身)

去る6月、私にとって高校で最後の全県総合体育大会で団体、ダブルス、シングルスで3冠を手にすることができました。これは、小学生の頃の自分からはとても想像出来ないことです。小学生の頃から父と兄の影響を受け、私も卓球が大好きでした。もともと飛び抜けた素質もなかったのですが、地元の卓球連盟の方々やスポーツの方々に指導していただき、少しずついろいろな技術を習得すると、勝ちたい気持ちがとても強くなりました。

無名な私は初戦敗退が続き、悔しきでいっぱいでした。すべての面において格上の選手になすすべもなく、心が折れそうなところが幾度もありました。そんなとき父は、強くなりたいのならそこを乗り越えなければいけないといつも励ましてくれました。どうして強い選手はいとも簡単に勝てるんだろう、自分に足りないものは何だろうと悩みました。今思うと卓球に対する考え方、勝負における概念など知識が不足していたのだと思います。



ダブルスの熱戦 (右が泉選手)

文武両道で卓球部も強豪の秋田高校に進学を考えたときは両立が大変だと思いましたが、素晴らしい先生や先輩、同期に支えられ頑張っていました。今振り返り、技術的にも精神的にも未熟な私

を温かくご指導くださる監督、各種大会でいつも応援して支えてくださる方々や家族が私を励ましてくれたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。最後に、高校の卓球生活の集大成として、8月4日から甲府市で開催されるインターハイでは、自分らしい試合をしてチームに貢献出来るよう頑張ります。

編集後記



この度の改選によって広報委員が新たに選出されましたので本号(第34号)が私たちの編集による最後の広報となります。

毎号表紙の写真を提供くださいました吉田博光様をはじめ、議会事務局のみなさまには紙面をおかりし厚く御礼申し上げます。

就任以来、議会の臨場感をお伝えできるように努めて参りました。しかしながら紙面の制約もあり、反省点が多々ありました。編集委員一同、ご高覧いただきました町民のみなさまのご多幸、ご健勝をお祈り申し上げます。

- 前委員長 平賀 真
- 前委員長 小澤 高道
- 前委員 伊藤 千作
- 前委員 三浦 敦
- 前委員 斎藤 清作
- 前委員 後藤栄美子